

## 競技会に起きた事例 Q&A

Q1. OUT7番ホール 中央の樹木を覆っているネットにボールが入ってしまった。  
この場合はどのような処置を行えばよいのか。

A 樹木に取り付けられているワイヤやその他の物は不可分なものといい、罰なしに救済は受けられません。アンプレヤブルの処置が正しいでしょう。

Q2. OUT8番ホールのカート道の拡幅箇所（砂利の場所）にボールが止まりました。  
この場合はどのような処置を行えばよいのか。

A 現在は砂利の状態なので、砂利はルースインペディメントとして取り除きプレーを続けることとなりますが、砂利の部分は芝を貼る予定なので、芝が定着すればプレーには問題なくなるとおもいます。芝の定着までは修理地の扱いとなります。

Q3. OUT8番ホール右の植込みの刈り込み跡地にボールが止まってしまった。  
この場合はどのような処置を行えばよいのか。

A 人工の物ではないので障害物とはなりません。そのままプレーを続行するかまたはアンプレヤブルの処置が良いかとおもわれます。（現在は青杭をたててあります。）

Q4. IN10番ホール右側林側ネット横のベアグラウンド内の石が散乱している部分にボールが止まった。  
この場合はどのような処置を行えばよいのか。

A 石はルースインペディメントなので取り除いてプレーできます。  
ちなみに、ベアグラウンドは異常なコース状態にはあたらないので無罰での救済はございません。

Q5. IN11番ホールフェアウェイにイノシシの掘り返し箇所が点在しており、修理地がどこまでなのか  
わからない。

A 現在、点在している修理地を更に広範囲に青杭を立て、解りやすくしました。

Q6. IN12番ホールカート道路フェアウェイ側のくぼ地（わだち）にボールが止まってしまった。  
この場合はどのような処置を行えばよいのか。

A 修理地の標示がなければ修理地ではありません。そのままプレーするか、アンプレヤブルの処置が妥当とおもわれます。しかし、カート道に少しでも触りそうな場合は動かせない障害物として救済を受けることができます。

Q7. IN15番ホール4本木周辺にボールが止まったが、小石が散乱していて困ってしまった。  
この場合はどのような処置を行えばよいのか。

A 小石はルースインペディメントなので全て取り除くことができます。

Q8. IN16番ホール前進ティ付近のカート道左側の排水溝のくぼ地にボールが止まった。  
この場合はどのような処置を行えばよいのか。

A 排水溝がスイングの妨げとなる場合は無罰の救済ができます。くぼ地のみが障害となる時は、くぼ地が修理地の扱いとされていれば無罰で救済がとれます。

Q9. IN16番カート道左側（斜面側）のくぼ地にボールが入りました。  
この場合はどのような処置を行えばよいのか。

A 修理地の標示がなければ修理地ではありません。そのままプレーするか、アンプレヤブルの処置が妥当とおもわれます。しかし、カート道に少しでも触りそうな場合は動かさない障害物として救済を受けることができます。